

●	前年度に引き続き実施したもの
◎	前年度は実施しなかったが、平成26年度は実施したもの、または新規に実施したもの
—	前年度は実施したが、平成26年度は実施しなかったもの、または廃止したもの
□	自治会または他団体で取り組んだもの

【基本目標 1】 お互いを大切にしようひとりづくり

活動目標	具体的な取り組み	関連事業	地域															地域の課題・今後の方向性							
			飯塚	片島	立岩	鯉田	菰田	飯塚東	二瀬	幸袋	鎮西	楽市西	楽市東	平恒	若菜	椋本	高田		大分	上穂波	内野	庄内	穎田		
(1) 人権の尊重と地域福祉の意識醸成	①人権の尊重を基盤とした福祉意識の向上	1 人権同和問題研修	□	□		●	●	●	●		□				□		□	□	□	□	□	□	●	・構成員の殆どが役職を複数兼務し、啓発活動の新たな取り組みが困難なため工夫や改善が必要である。 ・参加者増加のための呼びかけが必要 ・自治会単独では開催が難しく、他団体との協力が必要	
		2 福祉・健康に関する講演会(福祉のつどい)									●	●	●	●	●	●							●	・多くの方に聞いてもらうため、幅広い年齢層を対象としたテーマ設定に心がけている。 ・講師の選定に苦慮している。 ・講師謝礼等の費用がかかからないように、講師を市職員等に依頼する等の工夫をしている。	
		3 福祉委員研修[地区社協、ネットワーク委員等] ※視察研修も実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・講師の選定に苦慮している。 ・施設訪問については、受け入れ先、移動手段の確保に課題がある。 ・福祉委員の高齢化により、後継者の確保が困難 ・平日開催のため、仕事があり出席できない若い世代の方への参加の呼びかけが課題である。
		4 小学生の福祉体験・福祉講座					●												●			●			・福祉施設を利用して福祉体験を実施 ・小学校において、障がいについての講演や点字学習を実施
		5 男性料理教室	●				●					●	●												・参加者のほとんどが固定しているため、新規参加者の募集が課題である。 ・公民館報等で広報し、参加者増加を図っていく。
	②地域活動への参加を高める意識づくり	6 自治会への加入促進	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	・未加入者はアパート等の若い人が多く、理由は、地域での交流や役職につくことが面倒・加入のメリットが無い等 ・家主さんに家を貸す際に自治会加入を勧めるよう要望 ・高齢者の一人暮らしの未加入者が多い。 ・個人情報保護の観点から加入活動が制約される。 ・一人暮らしの方は退会しようとするが、地域のつながりの重要性を話すなどし、退会されないよう説得している。 ・自治会長と大家が連携し、若い方への加入促進を図っている。 ・子ども会のイベントやグランドゴルフ、講演会などに参加されたときに、加入の呼びかけをしている。	
(2) 地域づくりの担い	①活動へのきっかけづくり	7 花壇の作成								□													・自治会で、花壇を作っている。自治会未加入者等の加入の足がかりになるよう活動している。		
		8 ふれあいマーじゃん教室									●				◎			●	●	●	◎			・脳トレ・介護予防・団塊世代の地域活動参加のきっかけとして、講師を呼んで教える講座を行った。受講者が、もちかえり、地域へ広めていくようにする。	
		9 福祉事業への見学の周知		●																				・小学校の学年通信や地区社協だよりを通じて「いきいきサロン」ほか福祉事業への見学の周知を行い、見学者の増加を図っている。	
		10 ボランティア体験の機会づくり							●															・地域の事業においてボランティア参加の呼びかけを行い、体育祭や文化祭で担い手として協力してもらっている。	
(3) 地域福祉活動の促進	①活動しやすいフィールドづくり	11 各種団体への助成				●	●														●		・活動計画書、実績報告書等を提出させ、補助金が適切に運用できているか精査が必要 ・地域の福祉活動に重点を置いていく。		
		12 各種団体の広報支援		●																				・福祉関連事業・活動について、広報の内容を充実させ、積極的に地区社協だよりを発行し、活動の予定を公民館報に掲載をし、地域住民への周知を継続・徹底する。	

【基本目標 2】 支え合う地域づくり

●	前年度に引き続き実施したもの
◎	前年度は実施しなかったが、平成26年度は実施したもの、または新規に実施したもの
—	前年度は実施したが、平成26年度は実施しなかったもの、または廃止したもの
□	自治会または他団体で取り組んだもの

活動目標	具体的な取り組み	関連事業	地域															地域の課題・今後の方向性							
			飯塚	片島	立岩	鯉田	菰田	飯塚東	二瀬	幸袋	鎮西	楽市西	楽市東	平恒	若菜	椋本	高田		大分	上穂波	内野	庄内	穎田		
(1) 地域における交流活動の促進	①地域での交流の機会づくり	1 いきいきサロン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・参加者が老人クラブ会員に固定されつつあり、老人クラブ未加入者にも参加の呼びかけを行っている。 ・参加することで老人として見られることに抵抗があるとの理由で減少傾向にある。 ・小さな集落は、人数が少ないため、設立の手法に課題 ・世話をする協力者が少ない。 ・参加者の交通手段や対象者への呼びかけ方法に課題 ・体をこわしたり、認知症での脱退者も多い。 ・男性の参加者が少なく、新規加入者も少ない。		
		2 介護予防型サロン															●	●	●				・いきいきサロンと同時開催		
		3 グランドゴルフ ※小学生も参加	●			●	□	●		●	●	●	●	●	●	●	●						●	・雨天時の対応、他行事との調整や開催場所の確保が課題 ・参加賞の賞品が好評で、参加者が増加	
		4 ふれあい会食会(交流会)	●			●	●	●	●	●								●	●	●	●	●	●	・移動手段が課題。社協からバスを借りて区内を循環して送迎を行っている。 ・年々対象者が増加しており、会場の確保、必要経費の捻出及び協力者の確保等の課題がある。 ・子どもとの交流も検討していきたい。 ・土日に開催すると子どもたちや高校生の参加がある。	
		5 趣味活動(映画会・健康カラオケ)											●											・参加者増加のため、呼びかけ等が必要である。	
		6 バスハイク ※対象 ①高齢者 ②障がい者		●	—	●	●	●		●		●											●	・予算の不足、高齢化で実施場所(バリアフリー化)の確保が難しい等の理由で未実施になった地域がある。 ・予算の都合上、個人負担が必要である。	
		7 慰問品作成・贈呈				●																			・廃校により中学生との交流は中止になったが、年に1回小物作りを行い、ボランティアが90歳以上の方・寝たきり老人の方に届けている。
		8 子ども球技大会	●								●	●													・子どもの数が減っているため、参加チームが減少傾向にある。 ・スポーツクラブ、塾通い等で参加者が集まらない。
		9 交流ウォーキング										□			●	●									・高齢者の参加が多いためコースの選定に苦慮している ・参加賞を工夫するなどして、参加者増加に繋げている。
		10 園児との交流 ※子育てサークルとの交流	●	●	●			●															●	・保育所の統廃合により、高齢者の保育所までの移動手段の確保が困難となる。	
		11 児童との交流・学校行事への参加	●	●	●	●	●					●					□	●					●	・学校行事での交流活動では、移動手段の確保、学校再編による交流の場が今後懸念される。	
		12 地域行事への参加・協力(どんど焼き・子ども餅つき、ふれあいフェスタ等)	□	●		●	●	●	□	□	□	●			●	●	●	●	●	●	●	●	□	・公民館祭り、どんど焼き等の地域行事へ人員を派遣、または助成金を交付 ・若い参加者が少ない。	
	②活動の場の利用促進	13 公民館等の利用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・いきいきサロン等では各自治公民館を利用している。 ・グランドゴルフでは小学校グランドを利用している。	
		14 事務局等の活動拠点の確保					●					●												・事務局職員を配置し、ふれあいセンターを開設している。 ・忠隈住民センターを活用し、住民の地域福祉を推進している。	

